

公正な事業慣行

倫理的で誠実な事業活動を行うことがすべての基本です。コンプライアンスを徹底することはもちろん、サプライチェーンにおける環境や人権に配慮した持続可能な調達を実現することも、将来にわたって持続的で安定した事業活動を行っていくためには欠かせません。

関連するポリシー 調達方針

持続可能な調達

重要原材料

使用している原材料を使用量、依存度、代替の可否、環境や社会との関わりなどの視点で総合的に評価し、重要原材料を整理しています。また、事業や地球環境の変化、社会からの要請に応じて定期的に重要原材料を見直しています。

重要原材料

カカオ豆	チョコレート製品の主原料
パーム油	幅広い製品に用いられる油脂や食品添加物の原料
紙	幅広い製品の容器包装に使用

重要原材料①カカオ豆

中期目標と実績

私たちは、2023年度までに調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を20%以上にする、さらに2028年度までに50%以上を目標に掲げています。

2023年目標
20%以上



2028年目標
50%以上



2020年度のカカオ豆の調達実績は8.3千tで、そのうちフェアカカオの割合は11%でした。今後も、産地やサプライヤーと協力してフェアカカオの調達割合を拡大していきます。

カカオ豆調達量

2018年度	6.4千t	うちフェアカカオ7.9%
2019年度	7.5千t	うちフェアカカオ4.0%
2020年度	8.3千t	うちフェアカカオ11%

集計対象

株式会社ロッテ

豆の状態で開催したカカオ豆の重量

FAIR CACAO PROJECT

(フェアカカオプロジェクト)

カカオ豆の生産地は農家の貧困や児童労働等、様々な課題を抱えています。チョコレートが主力製品である私たちにとって、カカオ豆の持続可能な調達は重要な課題であり、これまで調達活動を通じた様々な支援を行ってきました。これらの持続可能なカカオ産業の実現に貢献する活動をFAIR CACAO PROJECTと名付け、調達活動と生産地支援に取り組んでいます。

FAIR CACAO PROJECTの調達活動として、これまで行っていた地域指定購入による支援に加え、児童労働のモニタリングをスタートしました。これは、調達する生産地域を指定し、そこから調達するカカオ豆に一定の割増金(プレミアム)を上乗せして支払うもので、割増金はその地域における児童労働のモニタリングと支援に使われます。児童労働を発見・是正することはもちろん、モニタリングによって地域ごとに異なる課題を明らかにし、地域に合った支援を行うことを目的としています。このように調達したカカオ豆をフェアカカオと名付けて、その調達割合の拡大をESG中期目標で掲げています。

また、生産地支援は、国内外の業界団体やNPOなどと協力して行っています。農家および将来の農家の担い手である子どもたちへの支援は、カカオ豆の持続可能な調達につながります。

■ 世界カカオ財団 (World Cocoa Foundation)

カカオ農家の支援を目的として2000年にアメリカで設立された国際的なNPO法人です。赤道直下のカカオ栽培地域にて、カカオ農家の技術支援や、過酷な児童労働のない社会の実現を目指した活動に取り組んでいます。



■ ジョイセフ

女性のいのちと健康を守るために活動している1968年に日本で設立された国際協力NGOです。ジョイセフを通じて、2008年からガーナ共和国へ保健活動に関する支援をしています。これまでに保健推進員や助産師が家庭訪問による健康教育などに用いる再生自転車の寄贈、安心して清潔な水を確保するための井戸を建設するための支援を行ってきました。近年は感染症予防対策に重点を置き、保健施設の衛生環境強化や保健スタッフの研修などへの支援を実施しています。



■ 国連WFP

(国際連合世界食糧計画 WFP協会)

飢餓のない世界を目指して活動する国連の食糧支援機関



で、活動の柱の一つとなっているのが学校給食プログラムです。学校給食を届けるためのキャンペーンである「レッドカップキャンペーン」に参加し、国連WFPがガーナ共和国で行う、学校給食プログラムを支援しています。



学校給食プログラム ©WFP/Mandang-ba Mustapha

FAIR CACAO PROJECTの概要



重要原材料②パーム油

▶ 中期目標と実績

私たちは、2023年度までに国内で調達するパーム油を、RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) 認証などの第三者認証油に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。

2020年度のパーム油の調達実績は16.0千tで、そのうち第三者認証油の割合は7.5%でした。今後も、パーム油の持続可能な調達に取り組み、第三者認証油の調達割合を拡大していきます。

2023年目標

100% (国内)



2028年目標

100% (国内+海外)



パーム油調達量

2018年度	15.9千t	うち第三者認証油0%
2019年度	15.4千t	うち第三者認証油0%
2020年度	16.0千t	うち第三者認証油7.5%

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカムパニー
油脂および油脂加工品に含まれるパーム油の重量

社会との連帯

持続可能なパーム油の調達を推進するため、RSPOに加盟しています。RSPOを通じてパーム油に関わる企業・団体と連帯し、パーム油産業全体の持続可能な発展に貢献していきます。



重要原材料③紙

中期目標と実績

私たちは、2023年度までに国内で調達する製品の容器包装に用いる紙を、FSC(森林管理協議会)認証などの第三者認証紙や再生紙といった環境に配慮した紙に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。

2023年目標

100%
(国内)



2028年目標

100%
(国内+海外)



2020年度の国内における製品の容器包装に用いる紙の調達実績は42.7千tで、そのうち環境に配慮した紙の割合は94%となり、前年度より1ポイント増加しました。今後も、紙の持続可能な調達に取り組み、環境に配慮した紙の調達割合を拡大していきます。

紙調達量(製品の容器包装)

2018年度	45.5千t	うち環境に配慮した紙92%
2019年度	42.5千t	うち環境に配慮した紙93%
2020年度	42.7千t	うち環境に配慮した紙94%

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカムパニー

責任あるサプライチェーンの構築

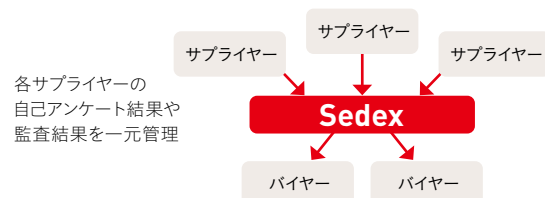
価値観の共有

私たちは、調達方針に基づき、持続可能な調達活動を推進しています。調達方針には、倫理的な取引や品質、安全性に関してはもちろん、サプライチェーンにおける環境や社会への配慮についても掲げています。しかしながら、サプライチェーンのグローバル化に伴い、私たちだけでサプライチェーン全体における環境や社会への影響を把握・管理することは難しく、サプライヤーと協働して取り組むことが不可欠です。そこで、2019年4月に「株式会社ロッテサプライヤーガイドライン」を制定しました。本ガイドラインを通して、サプライヤーと基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構築して、共に持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。また、本ガイドラインの説明会を定期的を実施することで、更なる理解促進と関係構築を進めています。

サプライヤーのモニタリング

2021年にサステナビリティ情報等の自己アンケート結果や監査結果を共有できる世界最大のプラットフォームであるSedex*に加入しました。今後は、Sedexを活用して各サプライヤーの評価や情報収集を行うとともに、未入会の一次サプライヤーに対しては、Sedexへの加入とSedexを通じた情報共有を要請していく予定です。

* Sedex: サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム (Supplier Ethical Data Exchange) の略。2004年に英国で設立された、サプライチェーンにおける責任あるビジネス慣行の実現を目指し、企業の倫理情報を管理・共有するためのプラットフォームを提供する非営利団体。



コンプライアンス

▶ 行動憲章 LOTTE Group Way

行動憲章 LOTTE Group Wayは(株)ロッテおよび子会社の役員と従業員全員が理解し、これに基づいて業務を行う指針として2008年に制定しました。また、ホームページなどで公開しており、倫理的で誠実な事業活動を社会に約束しています。7つの項目から構成されており、企業理念であるロッテグループミッションとロッテバリューを実現するための行動指針として位置付けられています。

また、ホームページ以外にも、企業理念WEBブックおよび多言語版冊子の中でも行動憲章について解説し、全役員と従業員への浸透と理解促進を図っています。



▶ コンプライアンス研修

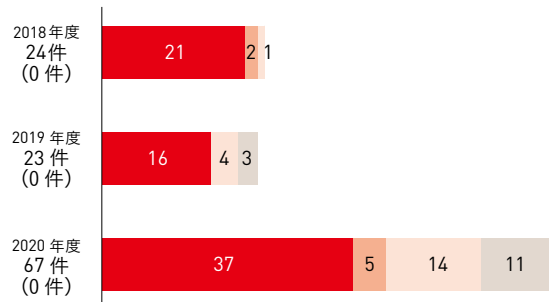
行動憲章の浸透と倫理的で誠実な事業活動の実践のために、従業員を対象としたコンプライアンス研修を行っています。2020年度は、新入社員や昇格者を対象とした研修および年次研修でコンプライアンスに関する研修を実施しました。今後も、計画的に研修を継続していきます。

▶ 内部通報制度

(株)ロッテでは、内部通報制度としてクリーンラインを2006年より社内を設置しています。ハラスメント等の人権問題、経費不正や情報持ち出し等の不正行為、法令違反および社内規程違反等のコンプライアンス違反行為全般について、電話やメール、手紙などで従業員からの通報や相談を受け付けており、被害者がいる場合には速やかに救済を行っています。対応については、通報者のプライバシー保護に努めるとともに、通報による不利益が生じないよう細心の注意を払って

ます。また、(株)ロッテおよび国内外の子会社では、社外通報窓口を2018年より設置しており、内部通報の実効性を高めています。

通報窓口への相談・通報件数



■ ハラスメント ■ 不正行為 ■ マネジメント ■ 雇用・労働関係
カッコ内は2021年3月末時点で対応が完了していない件数

集計対象

株式会社ロッテ

▶ 法令違反

2020年度は、重大な法令違反は発生しませんでした。

▶ 情報セキュリティ

(株)ロッテでは情報セキュリティマネジメント委員会を設置し、お客様や従業員、技術に関わる機密情報の保護と管理に取り組んでいます。同委員会では、情報セキュリティに関する教育も行っており、新入社員への研修のほか、定期的な標的型攻撃メールに関する注意喚起を行うとともに、実践型の訓練を実施しています。

▶ 動物実験について

(株)ロッテでは、動物実験に関する考え方を定めています。

動物実験に関する考え方

私たちは、社会に対して説明責任を果たす必要がある場合、適切な代替試験方法がない場合、又は、法規制上或いは行政から求められる場合等を除き、外部委託も含めて動物実験は行いません。やむを得ず動物実験を行う場合は、関連する法令や指針等に則り、3R*の原則を遵守します。

* Replacement(代替法の利用)、Reduction(動物利用数の削減)、Refinement(苦痛の軽減)